

## 低入札調査票記載要領等

### (1) その価格で入札した理由

#### ○記載方法

当該価格で入札した理由を、労務費、手持工事の状況、手持資材の状況、手持機械の状況、過去の工事実績の状況、下請予定業者の協力等の面から記載する。

特に工事の品質、下請契約、労働条件、安全対策の適正確保の事項等についても記載すること。

#### ○添付資料

工事費内訳書は、工事価格と各項目（工事費内訳書取扱要領（平成27年雲仙市告示第30号）第4条に定める記載項目をいう。）の合計金額とが一致し、かつ、入札価格と同額であるものとする。ただし、本要件を満たした工事費内訳書を入札書の提出と同時に提出されている場合は、添付を省略することができる。

### (2) 手持工事の状況

#### ○記載方法

すべての受注工事（公共工事）について記載すること。

「手持工事詳細」欄に、手持工事の進捗状況、請負形態（単独・JVの別）、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人の氏名を記載すること。

「備考」欄に手持工事が当該工事の実施に際して支障ない理由を記載すること。

### (3) 労働者の確保計画

#### ○記載方法

「員数」欄には、使用する労働者の延べ人数を記載すること。また、自社労務者と下請労務者とを区別し、記載すること。

#### ○留意点

①自社労務者を充てる場合は、記載された者が自社社員であること。

②下請予定業者による労働者の確保を予定する場合は、下請予定業者と入札者の関係が記載のとおり存在すること。

4 「下請予定業者一覧」に記載した内容と一致していること。

### (4) 下請予定業者一覧

#### ○記載方法

当該工事で予定している下請予定業者についてすべて記載すること。

「備考」欄に下請予定業者の電話番号及び入札者（元請）と下請業者との関係（協力会社・資本提携会社等）を記載すること。

「過去の実績」欄には、当該下請予定業者との直近の下請契約の工事名と工期を記載すること。

#### ○留意点

下請予定業者が具体的に予定されていること。